

義歯床用短期弾性裏装材

ハイドロティッシュコンディショナー

HYDRO TISSUE CONDITIONER

60年以上使用され続けたティッシュトリートメント材ケイシーデンタル社【ハイドロキャスト】の後継品です。



ハイドロティッシュ
コンディショナーを使用して
正確に作った義歯は
義歯床内面と粘膜面との
面着(吸着)が一味違います。

【特長】

- 柔らかさと流動性を2週間程度維持することができるティッシュコンディショナーです。
- 流動性を維持する期間に小帯の動きや粘膜面の状態を正確に再現した機能印象を採得する事が可能です。
- 義歯を使用しながらでも粘膜面の傷や義歯性口内炎を治癒させることが可能です。
- フラビー部分の無圧的な印象を採る事が可能です。
- フローコントロールを使用する事によってハイドロティッシュコンディショナーの継ぎ足しが容易に行えます。
- 新しい義歯の作成時、あるいは既に使用している義歯をリラインする時の機能印象材としてお勧めします。

●ハイドロティッシュコンディショナーキット



- キット内容
- 粉 100g
 - 液 100ml
 - フローコントロール 6ml
 - ミキシングカップ
 - 粉計量バイアル
 - スポイト
 - スパチュラ
 - 塗布ブラシ
 - トンガリキャップ
- 標準価格 ¥11,000

●単品

- ハイドロティッシュコンディショナー粉 100g 標準価格 ¥6,800
- ハイドロティッシュコンディショナー液 100ml 標準価格 ¥6,800
- ハイドロティッシュコンディショナーフローコントロール 6ml 標準価格 ¥2,300

1

粉と液(1:1)を付属の粉計量バイアルおよびスポイトを用いて計量します。



2

付属のミキシングカップに先に液を入れ、粉を加えてスパチュラで手早く5秒間攪拌し混和します。これにより滑らかなクリーム状の混和物が得られます。



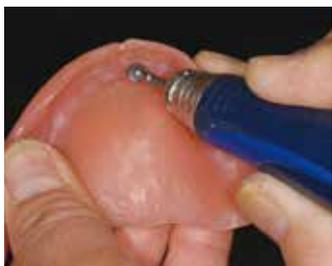
3

ラップや中が見えるようなガラスの蓋で容器を覆い、そのまま室温で5~7分間放置し、稠度を確認します。稠度の上昇は室温の影響を受けるため、室温が高くなればクリーム状になるまでの時間は短くなります。



4

患者の口腔内および義歯内面をよく観察し、圧痛点等あれば必要に応じて先に内面を削合します。



5

スパチュラで巻き上げた混和物を所用の箇所へ薄く均一に塗布します。



6

患者の口腔内に注意深く義歯を挿入し、静かに咬頭嵌合位で噛み合わせてもらい、2~3分間楽な閉口位をとらせます。中心位で義歯の咬合関係をチェックし、口腔周囲筋の機能的運動を行います。治療用義歯の場合は模型上にて填入した後に口腔内に装着してください。



7

義歯を取り出し、義歯床辺縁部に流れ出た余剰部分をエバンスナイフ等で除去します。不足があれば混和物を一層盛りだし、患者を帰宅させます。



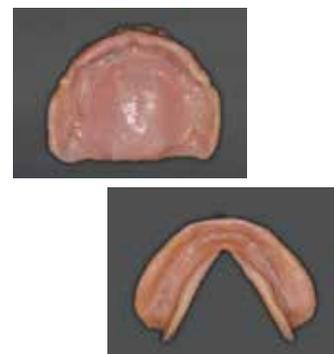
8

24~48時間後に患者を来院させ、義歯内面を観察し、混和物の過度の延長、不足の有無及び圧痛点を確認します。



9

内面の確認作業を繰り返します。必要に応じてフローコントロールの使用をお勧めします。(写真は、治療用義歯の調整が終了したものです。)



10

粘膜組織と咬合関係を診察した上で問題がなければレジン床に置き換えます。治療用義歯の場合は最終義歯の製作段階へ移行します。

